

議会報告会報告書

平成29年2月6日

山陽小野田市議会

議長 尾山 信義 様

C班

代表 中島 好人

平成28年12月定例会議会報告会の実施状況について下記のとおり報告いたします。

記

1 開催日時

平成29年1月25日（水） 14:00 ～ 15:30

2 開催場所

中村公会堂

3 参加人数（市民）

9 人

4 担当班議員名

（ 中島好人 ）（ 岡山 明 ）（ 岩本信子 ）（ 石田清廉 ）
（ 中村博行 ）（ 三浦英統 ）

5 報告会次第

（1） 市議会代表挨拶

（2） 12月議会の報告

① 総務文教常任委員会 （ 中島好人 ） [司会]（ 岡山 明 ）

② 民生福祉常任委員会 （ 石田清廉 ） [記録]（ 三浦英統 ）

③ 産業建設常任委員会 （ 岩本信子 ） [受付]（ 中村博行 ）

（3） 質疑応答

6 主な質問・意見・提言

<総務文教常任委員会>

- ① 住民投票条例について、4年前の市長選挙と同時選挙では投票率が45.53%であったが、改正していたら50%を超えていたと思うか。

[回答]

超えていたかどうか不明だが、市長が前回の市長選挙との同時選挙で痛い経験をしたとの発言をしており、今回の条例改正が提案され可決した。

- ② 市長の痛い経験とはどういうことか。

[回答]

市長の議会答弁によると、本来住民投票条例は住民の意思が反映されなければならないものである。他の選挙と同時実施により、制約を受けるため結果として、開票に至らなかったということである。

- ③ 同時選挙をしたら投票率が上がると思うがどうか。

[回答]

委員会ではそのような意見は出なかった。

- ④ 指定管理について、これまでは3年契約であったのを今回2年間とした理由は何か。

[回答]

建物が老朽化しており、ボイラー及び配管の傷みがひどいので、2年後に大規模改修等の検討をするためである。

<民生福祉常任委員会>

- ① 病院会計について、8,800万円の収益的利益があるにもかかわらず、患者数の減少等、さまざまな課題が提起されている。コンサルタントに委託するというのはおかしいのではないか。

[回答]

昨年度の決算である。3月補正で2億9,700万円が一般会計から基準外繰入をした結果、黒字となった。委託は他市の経営状態の良いところを参考とし、病院経営の改善を図るためである。

- ② 入院、外来等は実質的収益であり、一般会計からの繰入が決算に出ていないがどうか。

[回答]

特別利益とし、2億9,700万円計上されている。

- ③ 公立保育所は定員に対して86%しか入っていないが、保育士の問題もあり、私立保育所と協議はしたのか。

[回 答]

私立保育所との定数等の協議は今後の問題である。

- ④ 保育士が40人～45人必要と思うが、検討はされているのか。

[回 答]

保育所の再編はいろいろ問題があり、問題を整理しその中で検討していく。

<産業建設常任委員会>

- ① 水道事業の経営状況はどうか。

[回 答]

収益的収支は黒字であるが、現状、企業債残額が43億円あり、基金は9億円である。今回アセットマネジメントをしたところ、今後40年で約250億円の更新費用が見込まれている。

- ② 水道料金について、他市との比較はどうか。

[回 答]

水道料金の状況は、山口県の資料によると事業形態や地形等の違いがあり、他市との安易な比較は困難である。

- ③ 下水道を通した結果、排水の通りが悪くなった。市は市道の側溝の管理はするが、地区道等はしない。市に地区道の改修を問い合わせた結果、市80%、地元負担20%との回答があった。大雨の時、上流から湧水があり地区道の水路があふれ災害が起こったときは市に責任があるのか。

[回 答]

市道は市の管理、地区道等は地元をお願いをしている。責任の所在については持ち帰り、後日回答する。なお、小規模土木事業の負担割合は市70%、地元が30%となっている。

- ④ 下水道の当初計画では山陽本線付近までくる計画であったが、いまだ来ない。どのような計画になっているか。

[回 答]

市の新たな汚水処理計画では、費用対効果から公共下水を縮小し、合併浄化槽に移行する計画である。個別地区の対応は下水道課に問い合わせていただきたい。

<その他>

- ① 今回の報告会で、時間や会場を変えたことによる効果は出ているのか。

[回 答]

加藤15名、厚陽11名、有帆3名、赤崎4名、商工センター3名、中村9名であり、少しは効果が出たものと思っている。

<意見>

- ① 保育所の再編計画については、乳幼児数等も考慮し、十分な調査をしての再編が必要ではないか。